

会館だより

2012年 1月号 第271号



財団法人日中友好会館

「会館だより」1月号の内容

行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・日中友好会館主催展
「祈りと祝福の藍布
—中国貴州ろうけつ染め展」
- ・「景雲書道展」

《日中友好後楽会》

- ・新春談話会

活動記録

- ・後楽会会員総会
- ・長野県日中友好協会女性委員会が
後楽寮を見学
- ・国会見学感想文
- ・後楽会中国旅行
- ・平成23年度中国社会科学院
青年研究者代表団第2陣が来日

会館行事と人の動き

新刊紹介

表紙

『蝙蝠太陽紋婦人衣装』
(中国民間工芸「ろうけつ染め」貴州黄平)
催事の詳細は、本誌2ページの「行事案内」
をご覧ください。

行事案内

日中友好会館美術館

◆日中友好会館主催展

「祈りと祝福の藍布
—中国貴州ろうけつ染め展」



龍蝶鳥紋子守帯 316×32cm
貴州榕江 ミャオ族

会 期：2012年1月28日(土)～2月22日(水)
月曜休館

時 間：10時～17時

入場料：無 料

開幕式：1月31日(火) 15:00～

ギャラリートーク：1月31日(火)15:30頃～
(開幕式終了後)

来日した中国美術館館員による作品解説
予約不要・参加自由。

主 催：日中友好会館、国立中国美術館
後 援：中華人民共和国駐日本国大使館、
(社)日中友好協会、日本国際貿易促進協会、
日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、
(財)日中経済協会、(社)日中協会、日本華僑
華人聯合總會、東京中国文化センター



貴州六枝梭嘎地域 ミャオ族
女性達が集まり蠟で図柄を描く様子

新春の主催企画展は、中国貴州省の少数民族による、ろうけつ染めの作品の展示です。ろうけつ染めは、絞り染めや藍染めと並び、中国無形文化遺産に登録されている民間工芸で、主に少数民族の女性が、昔ながらの技法を母から娘へ伝承してきました。

彼女たちは布や染料の原料となる植物を自ら育て、糸を紡いで布を織り、蠟で絵を描き、藍色で染め、できた布で様々なものを作り、生活を彩ります。

今回は、祖先を祀る「祭鼓幡」と子孫を祝福する「子守帯」を中心に、衣装や装飾品など、国立中国美術館の豊富な収蔵品から選りすぐりの約60点の作品を展示します。

ぜひお立ち寄りください。

【お問合せ】(財)日中友好会館 文化事業部

電 話：03-3815-5085

e-mail: bunka@jfc.or.jp

◆「景雲書道展」

会 期：2012年1月20日(金)～23日(月)

時 間：1月20日 13時～17時

21～22日 10時～17時

23日 10時～14時

入場料：無料

主 催：景雲会

穏健で高雅な西脇呉石先生の書風を慕う会員たち相互の研修と親睦を目的として書作品の展示を2年に1度開催しています。11月末には、京都宇治に研修旅行を出かけ宇治橋断碑、平等院(源兼行色紙形)を見学し、会員の親睦を一層深めて来たところです。ぜひご来場ください。

【お問合せ】景雲会事務局

電話：03-3302-5540

080-3209-2801

日中友好後楽会

◆新春談話会

日 時：1月19日(木) 午後5時より
会 場：中国料理「豫園」
（日中友好会館地下1階）
参加費：2,000円（非会員3,000円）

2012年最初の後楽会行事は、毎年恒例の新年会です。2012年も更なる日中友好を願い、会員、寮生が多く集まって賑やかに立食パーティを行いたいと思います。（講義はありません。）この機会に2012年の行事へのご希望、ご意見などもお聞かせ下さい。皆様奮ってご参加をお願いいたします。

【申込み・問合せ】

後楽会事務局 小林陽子

電話：03-3811-5305

FAX：03-3811-5263

メールアドレス：bunka@jefc.or.jp

※12月28日午後～1月3日まで
お休みです。

活 動 記 録

◆後楽会会員総会

第21回目となる、今年の会員総会は、11月25日小石川後楽園内「涵徳亭」にて行われました。江田五月会長をはじめ、後楽会会員、後楽寮寮生委員、会館職員の総勢51名が集まりました。3月の観桜会が大震災の影響で開催されなかったため、1年ぶりの集会となり、久しぶりの再会に賑やかな雰囲気で行われました。

（後楽会事務局）

◆長野県日中友好協会女性委員会が 後楽寮を見学



後楽寮前で記念撮影

11月22日、村山ひとみ委員長をはじめとする長野県日中友好協会女性委員会40名が後楽寮を見学しました。これには当会館理事である長野県日中友好協会西堀正司理事長、布施正幸事務局長も同行されました。

毎年夏には長野県日中友好協会主催のホームステイで後楽寮生を多数受け入れていただいております。今年で21年目となります。女性委員会のメンバーには今年のホストファミリーの方も来ており、寮生との久しぶりの再会にとて

も喜んでいました。

まず後楽寮食堂にて村上理事長と王理事の歓迎の挨拶で一行をお出迎えした後、留学生事業部職員と後楽寮生で3組に分かれ後楽寮内、美術館、地下ホールや後楽賓館、日中学院を見学しました。

そのあと後楽寮食堂で昼食を摂りながら胡波寮生委員長の歓迎の挨拶と楊禹副委員長のスライドによる寮生の活動を紹介しました。

ほぼ全員の方が初めて見学したとの事であり、日中友好会館をより一層理解していただき、後楽寮に親しみを持っていただけだと思います。今後とも長野県日中友好協会及び女性委員会にはホームステイの受け入れに協力していただきたいと願うばかりです。

(留学生事業部)

◆国会見学感想文



議事堂正門にて

11月16日、我々後楽寮生は日本国会を見学して来ました。今回の見学ができたゆえんは、中国留学生友の会代表世話人、野田衆議院議員夫人——野田みどり様のお蔭でした。野田夫人の手厚いご招待があったからこそ、今回の有益な見学活動が実現することができたのです。

その日、我々は10時半ごろに国会の前に着きました。少し時間待ちをしたあ

と、衆議院別館に入りました。そこで、野田夫人が私たちを待っていました。夫人は黒い洋服で、華やかな姿でした。簡潔かつ丁寧なご挨拶をなされてから、もう一人の中国留学生友の会の世話人古賀さんと一緒に昼ご飯をいただきました。楽しい食事の最中にみんなにプレゼントをいただきました。

お昼を終えてから、12時半ごろに国会議事堂へ入りました。同じ日に見学に来た人は少なくありませんでした。元気な小学生たちの姿を見て、日本は積極的に国民教育を行っていることに感心しました。案内係の誘導に従って建物の中に進んでいくのですが、築百年近くの建物に歴史感が溢れることを身近に感じられました。そのなか、天皇陛下の御休所の豪華さ、衆議院議場の広さそして建築材料の貴重さが強く印象に残りました。普段NHKでしか見られない場所に、実際に座ったり触ったりすることで、議員たちが国策を熱々と議論する場面を想像できました。それなのに、最近日本の首相が頻繁に変わることを我々留学生は不思議に思いました。

建物を出たら、外で私たちを待っていた野田夫人と会いました。私たちを連れて、広場の一角にある林へ歩いていき、各都道府県から贈られた木を一つ一つ紹介してくれました。北の北海道「あかえぞまつ」から、南の沖縄「そてつ」まで様々な種類の木が集まって、東京で元気に生えていることには、たとえ北京でもなかなか見られない光景でした。最後に、正門に辿りついたところでみんな記念撮影をしました。

半日の国会見学を気軽に楽しい雰囲気なかで終わりました。こうして、野田夫人のような日中友好に熱心な日本の方のご協力で見学を実現できるということは、日中友好交流において欠かせない一環ではないかと思っております。

(後楽寮生 顧寧)

◆後楽会中国旅行



海南大学の熱烈的な歓迎(海口空港にて)

今年の後楽会中国旅行は、海南島と広東省を巡る6泊7日の旅程でした。

- ① 11/11 午後、成田より広州へ移動、夜、広州白雲空港着。
- ② 11/12 朝、広州より国内線にて海南島海口へ移動。海南大学李小北教授や日本語学科の学生さん方が出迎え、熱烈的な歓迎を受ける。午後、海口見学(マングローブ林、海瑞墓等)。日本語学科の学生さんも同行し交流を深めた。夜、海南大学による盛大な歓迎晩さん会。元後楽寮生で、現在海南大学学長の李建保先生によるもの。
- ③ 11/13 新たに開通した新幹線にて海口より三亜へ移動。三亜市内を見学(南山寺、天涯海角等)。
- ④ 11/14 三亜市内見学。
- ⑤ 11/15 午前、国内線にて広州へ移動。着後、広州市内見学(西漢南越王墓博物館、広州博物館等)。
- ⑥ 11/16 広東省開平日帰り見学。開平の望楼群は、世界文化遺産に登録されている要塞を兼ね備えた華僑の建物。
- ⑦ 11/17 国際線にて成田へ帰国。

今回は村上立躬理事長を団長とし、18名の会員が参加しました。今年で20回目の旅行となり、過去に行ったことがない海南島をメインに企画しました。ちょうどベスト

シーズンに入り、気温は22~24度前後、天候に恵まれました。



海南大学李建保学長(左)、村上立躬理事長(中央)

海南島では、元後楽寮生で現在海南大学の学長をされている李建保学長のお取り計らいで熱烈的な歓迎を受けました。海南省に住む元後楽寮生は少数ですが、李建保学長を含めて5名の元寮生さんと面会し、各々の研究分野でご活躍されていることを聞き、うれしい気持ちでいっぱいでした。海南島では、ヤシの実や南国フルーツが生り、南方独特ののんびりした雰囲気が漂っていましたが、そのような中、新幹線や高層建築が建ち現代化が急速に進んでいる状況も良く分かりました。特に参加者の興味を惹いたのは、広東省開平(カ化^カ平)の望楼建築群(世界文化遺産)です。華僑が自宅と要塞を兼ねて建てた望楼が田園の中にニョキニョキと立つ風景はこれまで見たことがなく、面白かったとの声が多く聞かれました。



広東省開平望楼群と村落

今回は例年より移動が少なく、ひとつひとつの地方をじっくり見られました。来年も無理のないスケジュールで面白い企画をしたいと思います。どうぞご参加ください。
(後楽会事務局)

◆平成 23 年度中国社会科学院 青年研究者代表团第 2 陣が来日

「中米関係・日米関係」、「司法関係」を
テーマに交流



日本弁護士連合会にて専門交流(司法関係分団)

9月12日から18日までの日程で、平成23年度中国社会科学院青年研究者代表团第2陣(団長=楊光・中国社会科学院西アジア・アフリカ研究所所長、副団長=庫蘭・尼合買提・新疆社会科学院院部 副院長)が来日した。

本団招聘事業は、当財団が外務省から委託を受け実施するもの。一行は、中国社会科学院及び地方の社会科学院に所属する若手研究者50名で構成され、「中米関係・日米関係」及び「司法関係」をテーマに2グループに分かれ、東京のほか広島を訪問した。

9月13日夕刻に行われた当財団主催の歓迎レセプションには、山野内勘二外務省アジア・大洋州局参事官、孫美嬌中華人民共和国駐日本国大使館政治部参事官らが出席し、賑やかに行われた。山野内参事官の歓迎の言葉に続き、楊光団長は挨拶で、来日日が中秋節であったことに触れ、「中秋は収穫の時期でもあり、希望を込めて種をまく季節でもある。我々は先輩方が撒いた種を収穫すると同時に、新たに日中の友好と希望の種を撒きに来た」と述べた。

代表团は、東京でテーマごとの交流を行った後、広島へ移動した。9月16日午前には、湯崎英彦広島県知事を表敬訪問し、湯崎知事より、原爆が投下され大きな被害を受けた広島が、どのように復興を成し遂げたかについてお話を聞いた。午後には広島大学を訪問し、浅原利正学長をはじめ、大学院社会科学部法政システム専攻を中心とする研究者、大学院生らに迎えられ、学術交流会に参加した。終了後は、引き続き夕食交流会が行われ、日中双方計約90名が食事をしながら自由に懇談し、賑やかな交流となった。



湯崎広島県知事(右)を表敬訪問

中米関係・日米関係をテーマに 研究者と交流

分団別の活動として、中米関係・日米関係分団は、まず外務省で「日米関係」、防衛省で「日本の安全保障」をテーマにブリーフを受けた。また、日本貿易振興機構を訪問し、米国における日本企業の動向や投資状況に関し理解を深めた。

東京財団の交流では、日中双方の研究者同士がテーマに関し自由討議の形態をとった。中国脅威論、人民元のグローバル化、文化交流や日本の内政問

題についてまで、幅広く活発に議論が展開し、内容の深い交流となった。

また、日本国際問題研究所では、「米中関係」「アジア太平洋」「日米関係」について日本側 3 名から短い発表があった後に意見交換。台湾問題、TPP、主要国の首脳交代時期を迎える 2012 年以降の日米中の新たな関係についてなど、率直な意見交換が行われた。

広島大学の学術交流会では、斉皓・中国社会科学院アメリカ研究所助理研究員より「日中の構造的矛盾と日中米関係」をテーマに基調発表を行い、日中双方から質問が相次ぎ、時間を延長して行われるほどであった。

日本の司法領域について理解を深める

庫蘭・尼合買提団長率いる司法関係分団は、東京滞在中、法務省、最高裁判所を訪問し、法務省業務および日本の司法制度全般についての理解を深めた。また日本弁護士連合会での交流では、日本における会社法と独占禁止法についてブリーフを受けた。日本企業が中国国内で企業展開した際に、実際におこった案件をテーマにして、日中双方で活発な意見交換が行われた。

研究者との交流では、山田省三・中央大学法科大学院教授による「日本の労働法」についての講演を聞いた。講演後は、労働者の長時間労働や時間外労働についてなど、日中両国が共通して抱える問題について議論が展開された。

東京日程の最後には、府中刑務所を視察。施設概況の説明に続き、実際に戒護区域内も見学した。日本人でもなかなか足を踏み入れることができない場所だけに、視察後、団員の多くが「貴重な体験をすることができた」と充足の面持ちであった。

広島大学の学術交流会では、同大学の岡田昌浩准教授より「日本会社法の改正動向」をテーマに基調発表があっ

た。日本弁護士連合会との交流とはまた一味異なり、日中双方、研究者の観点からさまざまな意見が出され、予定の時間を延長して質疑応答が行われた。

一行は、このほか、広島平和記念資料館、原爆ドームを参観し、平和に対する思いを強めた。

9 月 17 日に行われた歓送報告会では、団員代表が訪日を通しての日本に対する印象や専門交流における感想を述べるとともに、「日本と中国は、共通点も異なる点もある。しかし胸襟を開いて交流することこそが重要であり、それこそが我々研究者が行うべき真の学術交流である」と訪日の成果を総括した。

代表団は全てのプログラムを終了し、9 月 18 日に関西空港より帰国の途についた。本代表団の受け入れにご協力下さった外務省及び関係機関・大学等の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(総合交流部)

会館行事と人の動き 11/1～30 (2011年)

● 会館行事

11/ 2～11/ 4 ▶ 小田原ホームステイ

11/ 4 ▶ 日中自詠詩書交流展開幕式

11/ 5 ▶ 日本高校生訪中代表団第2陣茨城、千葉、兵庫オリエンテーション
(11/6同団大阪オリエンテーション)

11/ 8～11/16 ▶ 中国高校生訪日団第5陣 来日(11/9同団歓迎レセプション、11/15歓送報告会)

11/11～11/17 ▶ 後楽会中国旅行(海南省・広東省 亞洲論壇国際会議、海南大学等参観、
李建保学長・李小北教授ほか元後楽寮生と交流会)

11/15～11/22 ▶ 第十六回中国教育関係者代表団 来日
(11/15同団歓迎レセプション、会館表敬訪問、11/21歓送報告会)

11/19 ▶ 日本高校生訪中代表団第3陣東京オリエンテーション (11/20同団宮城オリエンテーション)

11/22 ▶ 日本青少年訪中代表団第2陣オリエンテーション

11/23～11/29 ▶ 日本青少年訪中代表団第2陣 訪中

11/25 ▶ 後楽会会員総会(於: 小石川後楽園涵徳亭)

11/27 ▶ 後楽寮寮生委員会主催紅葉狩り

11/28 ▶ 第14回国際水墨画交流展開幕式

11/30 ▶ 後楽会秋季ハイキング(富士サファリパーク)

● 来館・訪問・面会

11/ 7 ▶ 三菱東京UFJ銀行 市川尚司東京公務部長来館・新任挨拶(村上理事長他)

11/ 8 ▶ 三菱東京UFJ銀行 大村賢 神楽坂支社長来館・新任挨拶(村上理事長)

▶ 中国外交部 宋敬武外事管理局副局長ら外弁幹部代表団 来館(村上理事長、王理事他)

11/10 ▶ アジア環境技術促進機構代表 川上彰夫専務理事来館(村上理事長)

▶ 草思社 池田氏来館(「古井喜実と中国」出版、村上理事長他)

11/11 ▶ 中国国際航空 羅勇支店長面会(王理事)

11/14 ▶ 江蘇省人民対外友好協会 徐龍副会長ら一行 来館(武田常務理事、王理事)

11/22 ▶ 長野県日中友好協会一行来館、会館見学(村上理事長他)

▶ 中国大使館 張成慶参事官夕食会(王理事)

11/29 ▶ 李鉄民氏、殷蓮玉氏 来館(村上理事長)

● 行事参加、その他の活動

11/10 ▶ 小石川後楽園庭園保存会 末正明理事長告別式(於:護国寺 村上理事長、入江常勤参与)

▶ 山東省三菱勞工連誼会代表団との懇談会(武田常務理事)

11/16 ▶ 中国留学生友の会主催国会見学(後楽寮寮生)

11/18 ▶ 国際水墨芸術大典2011授賞式(於:東京銀座ブロッサム、村上理事長)

11/20 ▶ 日中友好加須市民会議35周年記念祝賀会(留学生事業部)

11/21 ▶ 中国人民対外友好協会 李小林会長 来日記念レセプション(村上理事長、武田常務理事)

11/22 ▶ 宮崎文雄区議会議長就任を祝う会(武田常務理事)

11/25～11/27 ▶ 村上理事長訪中(11/25故紀朝欽理事弔問・王效賢夫人を囲む偲ぶ夜会、
11/26後楽会(中国)成立大会、11/27後楽会(中国)幹部との懇談昼食会)

11/28 ▶ 日本ペンクラブ 2011「ペンの日」懇親会(村上理事長)

11/29 ▶ 第5回日中関係シンポジウムレセプション(村上理事長)、11/30同シンポジウム出席

【新刊紹介】



「古井喜実と中国」

日中国交正常化への道

鹿雪瑩(ろく せつえい)著

A5版300頁 ¥3,800

2012年は日中国交回復40周年を迎えます。この著書は、歴史的な大偉業の実現に携わった、日中友好会館・古井喜実初代会長の苦節の努力を中心に、文献を屈指し、学術的に世に表した著書です。著者は中国の女性で、山東省泰山の近くの出身で、この著書は、彼女が京都大学大学院留学中にて書き上げた修士・博士論文です。

日中間で最も困難な、1960年代の文化大革命激動時代をはじめ、日本国内での批判、中傷等の厳しい環境の中で、LT貿易、MT貿易交渉を経ながら、1972年9月の国交回復への道筋を開き、田中角栄元首相の訪中までの経緯を詳細に著述した名著です。

【購入問合せ先:(株)思文閣出版 電話075-751-1781】